令和8年度

『大分市公共工事安全推進啓発期間』

令和8年11月12日（木） ～ 11月18日（水）

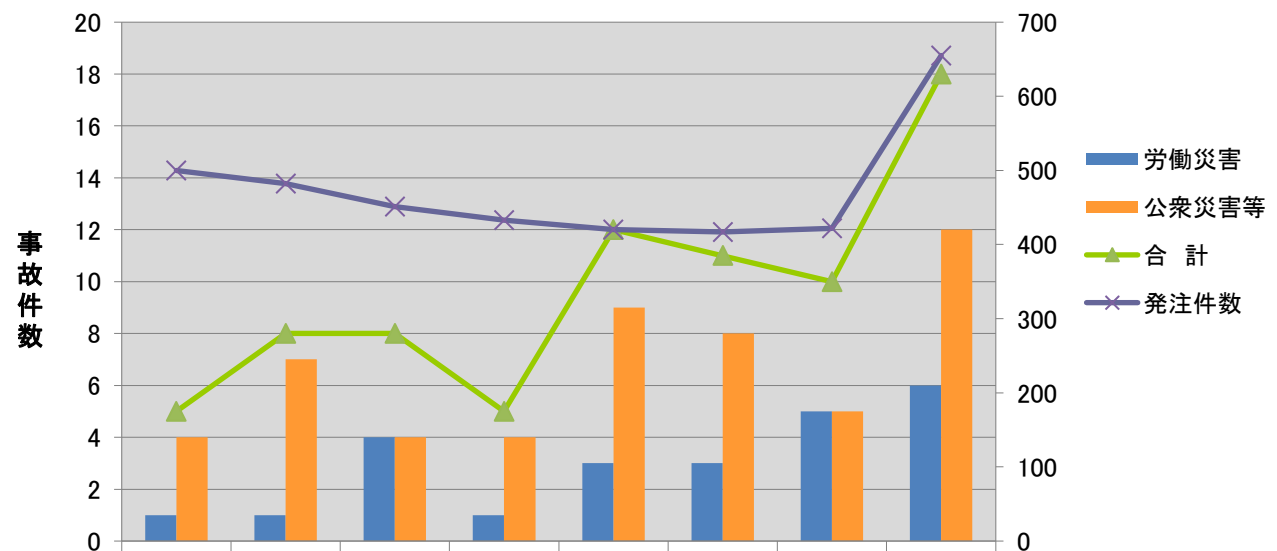
趣　　旨

公共工事には、中長期的な視点に立って地域の生活基盤、経済の発展基盤を整備していくという重要な役割があり、その担い手である建設業は、地元に密着した重要な産業です。

しかし、建設業の作業は厳しい気象条件など様々な現場環境下で行われるため、他の産業よりも事故の発生率が高くなりやすい傾向にあり、本市発注工事においても毎年事故が発生している状況です。（下図：過去8年間の大分市発注工事の事故状況）

そこで、本市では現在、大分市公共工事安全推進委員会を設置し、同委員会により大分市公共工事安全推進計画を策定して、その計画に基づいた各種取組みを行っていますが、その一つが今回実施する「大分市公共工事安全推進啓発期間」です。

大分市発注工事の事故発生の状況



	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
労働災害	1	1	4	1	3	3	5	6
公衆災害等	4	7	4	4	9	8	5	12
合　計	5	8	8	5	12	11	10	18
発注件数	500	482	451	433	420	417	422	655

※1：労働災害とは・・・工事関係者が被災したものをいう。
※2：公衆災害等とは・・・工事関係者以外の第三者が被災したものをいう。

安全推進啓発期間とは

「大分市公共工事安全推進啓発期間」は、大分市公共工事安全推進委員会により毎年実施していますが、今年度は　11月12日（木）から11月18日（水）までの一週間とし、期間中に安全パトロールや点検を実施して、安全意識の高揚を図っています。

受注者の皆様におかれましては、この期間を機に、工事現場の安全について再認識していただきますよう、よろしくお願いいたします。

大分市の重点項目

安全に向けた取組みの重点項目として、下記の5項目を掲げています。

①埋設物及び架空線等の確認の徹底

埋設されている水道管を破損させる事故が発生しています。
また、架空線に 接触すると感電や大規模停電の発生が生じます。
確認を徹底してください。



②重機による事故の防止

建設工事の死亡事故原因の一つとして、重機による作業時に発生したものが挙げられます。そのため、現場の状況を十分勘案し、シートベルト着用の徹底、誘導員の配置等の対策を行い、重機からの転倒や重機と作業員との接触等、重機による事故の防止対策を実施してください。



③墜落・転落災害の防止

墜落・転落災害は、重篤な災害に繋がりやすく、死亡災害も発生しています。
安全点検を実施し、墜落・転落災害の防止に取り組んでください。



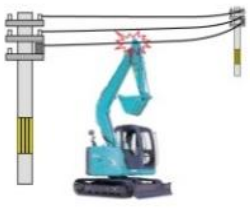
④熱中症予防対策

暑さ指数（WBGT値）の把握、作業環境の整備、熱への順化（暑さに慣れるまで期間を設け徐々に身体を慣らしましょう。）、定期的に水分や塩分を取り熱中症予防対策の徹底に努めてください。



⑤公衆災害の防止

昨年度は、12件の公衆災害が発生しました。
公衆災害の危険性を可能な限り特定し、当該リスクを低減するための措置を講じてください。









労働災害発生状況
（大分労働基準監督署管内）

休業4日以上の死傷者数　増↗　死亡者数　増↗

（昨年度同時期（9月末）比較）

大分労働基準監督署管内※1における令和8年9月末現在の労働災害発生状況（休業4日以上）を見ると、全業種の死傷者数は556人で、昨年度の同時期と比べて99人増加しています。また、死亡者数※2は、昨年度の同時期の2人から5人増加し、7人となっています。

このうち、建設業の死傷者数は90人で、昨年度の同時期と比べて23人増加しています。また、死亡者数は4人で、昨年度の同時期から3人増加しています。

※1：大分労働基準監督署管轄：大分市、別府市、杵築市、由布市、国東市、速見郡日出町、東国東郡姫島村
※2：死亡者数は、死傷者数の内数。

Safe work OITA

ご安全に！

大分市公共工事安全推進委員会